

中里小学校 学校だより

おおくす

令和7年6月20日

第5号

文責 大石泰文

学校教育目標：夢をもち、みんなと共に生きる子どもの育成～中里仲良し（共に学び、共に育つ）～

「いのちかがやく強調月間」 学校の様子は



先日、九州北部地方が梅雨入りし大雨を警戒していますが、今週は梅雨とは思えないような猛暑日が続いています。今日は熱中症嚴重警戒アラートが出されるなど気温の変化が激しく、体がついていけない子どもが多いのではないかと心配しているところです。

学校では、待ちに待ったプールの学習が始まり、プールが実施できそうな天気の時子どもたちの表情はとても明るいです。朝から「今日は2時間目と3時間目プールです。」と聞く前から嬉しそうに言ってくる子もいます。やはりプールは子どもたちの大きな楽しみようです。



校内を見て回ると、校舎の中には各学級や学年で飼育しているメダカ・ザリガニ・イモリ・チョウ・カメなど生き物があふれています。2年生校舎には、ミニ水族館も登場しました。

また、花壇や畑で、朝顔・ミニトマト・ひまわり・ホウセンカなど各学年が栽培している花や野菜がぐんぐん成長しています。いのちの躍動を感じます。そして、1年生も水やりなどのお世話を汗びっしょりとなりながら頑張っています。

校内の掲示物も大きく変わりました。(来校の折にご覧ください。)

さて、以前からお伝えしておりましたように、来週は**学校開放週間**です。曜日ごとに**授業参観・懇談会**も開催します。「いのちかがやく強調月間」の頑張る子どもたちの姿・よく考える子どもたちの姿をぜひご参観ください。

学級懇談会では、親子レク等の活動についても話合いができたかと考えておりますので、少しでも残っていただけたらと思います。

※運動場を駐車場としてご利用できるのは参観・懇談時のみです。ご注意ください。



6月18日(水)相浦地区の「子どもを事故から守る協議会」に参加してきました。

地域の安全に関する話題の中で、**自転車に乗る時はヘルメットを着用するように、**という話と**水の事故に気を付けましょう、**という話がありました。ご家庭でもあらためてお話ください。

特別支援学校との交流

6月に入り、佐世保特別支援学校と各学年の交流が始まりました。各学年が準備した内容で交流活動を行っているところです。子どもたちに感想を尋ねると口々に「楽しかったです!」という答えが返ってきます。

ところで、特別支援学校との交流は、本校の大きな特色のひとつですが、一体いつごろから始まったのでしょうか？

様々な方にお尋ねしたところ、ある教育関係の方から「1991年(平成3年)ごろよ。その時にね中里小が文部省(当時)の交流教育の研究指定を受けたとよ。」というのを教えていただきました。そこからなんと34年も！脈々と続いているわけです。



確かに、4年生教室横の階段をあがる踊り場に1枚の掲示物があり、「みんな仲良く 佐世保養護学校との交流より」と書いてあります。また、「平成3年度 第45回卒業生一同」という掲示もあります。

「特別支援学校」のことを以前は「養護学校」と言っていました。2007年(平成19年)の学校教育法の改正により名称が変更されています。養護学校時代からの長い長い交流になっているわけです。多様であることは当たり前というのは、今でこそ一般的な考えですが中里小は交流教育を通して先駆的に取り組んできていたのです。

あらためて今後も交流活動を大切にしていきたいと思いました。

平和ってどんなこと？

4年生が平和学習を進めています。

先日は、ゲストティチャーとして松村先生をお招きしました。「平和ってどんなこと？」と尋ねられると「みんなと仲良くすること」「争いがないようにすること」「戦争しないこと」と3人の人が答えてくれました。



学習後に感想を尋ねると「原子爆弾なんて二度と落としてほしくない」「いのちがすごく大切だと思った。」と言ってくれました。なんと、授業後、松村先生のところに行って「今日はわざわざありがとうございました。紙しばいや絵本を読んでいるときに悲しくなったからちょっと泣いてしまいました。」と伝えた子どももいました。

世界各地で争いが起こる中、子どもたちは平和について本当によく考えている様子でした。松村先生には6月末の 6.29 平和集会でもお話していただきます。